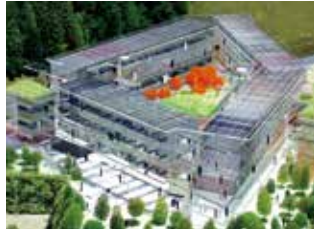


リアルを超える模型で 設計者のイメージを形にするスゴ技

アトリエブロックは建築模型づくりの職人集団です。建築模型には、大きく分けてコンセプト模型と完成模型とがあります。同社は設計デザイナーの頭の中にあるイメージを形にするコンセプト模型を得意としています。世界中から何百という設計者が参加する国際コンペ(設計競技)などでは、模型を用いてどれだけ魅力的に見せるかが勝敗の決め手になります。ライティングで光の演出をしたり、建物に透明な素材を使って空間を表現したり、設計デザイナーからの難しい要望にアイデアで応えます。

建築模型づくりには、建築の知識、CADやCAMの知識はもちろん、模型に使う素材や加工についての知識も欠かすことはできません。職人たちの知識や技術の旺盛な吸収力と、ユニークなアイデアで、数々の国際コンペ受賞の実績を生み出します。



建物の形と平面を透明ブロックで構成したコンペ模型



ここがすごい!!👍

「中途半端では自に納得できない！」 この職人氣質がすごい

アトリエブロックでは、基本的に1人のスタッフが1つの模型を最後まで担当します。工程は、模型用に図面を起こして、素材を加工して、組み立てるという多岐にわたります。人に任すことができない職人魂が、見えてきます。

「ほとんどが細かい手仕事で、時間に追われながら毎回試行錯誤の連続です。アイデアと工夫で問題を解決し完成したときの達成感を味わうと、また次の仕事に挑戦したくなってしまう」と田中耕一代表取締役は語ります。常に前の仕事よりも良い仕事をする姿勢が、このエネルギーの素のようです。



ビンテージギターの模型づくりの話が止まらない塚本さん



気になる構造体があると、つい作ってしまう岩脇さん

有限会社アトリエブロック 建築模型製作

www.ne.jp/asahi/atelier/block

代表者 田中 耕一
所在地 世田谷区上北沢4-10-9
設立 昭和55年(1970年)
主な事業 建築模型の製作
連絡先 ☎03-5316-5366



VOICE 🗣️

キョロキョロしているとおもしろい

デザインの勉強は、専門教育を受けなくても、特別な道具がなくてもできます。身の回りの身近なところに、デザインを考える具体的なヒントはいっぱいありますから。

僕なんか、いつもキョロキョロしていますよ。

田中耕一代表取締役